平 成 ２６ 年 度

事 業 報 告 書

自　平成２６年 ４ 月　１日

至　平成２７年 ３ 月３１日

公益財団法人大田区産業振興協会

平成２６年度 公益財団法人大田区産業振興協会　事業報告書

（ 目 次 ）

平成２６年度主要事業実績.....1
1　大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業（定款第４条(1)関係）....5
2　区内中小企業者の経営支援に関する事業（定款第４条(2)関係）.....6
3　区内中小企業の取引拡大支援に関する事業（定款第４条(3)関係）.....10
4　区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業（定款第４条(4)関係）.....21
5　区内中小企業の技術開発支援に関する事業（定款第４条(5)関係）.....23
6　中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業（定款第４条(6)関係）.....29
7　上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他機関等から受託する事業（定款第４条(7)関係）.....31
平成２６年度　産業プラザ施設利用状況＜別表Ａ＞.....33
施設利用収入状況＜別表Ｂ＞.....33
内職あっせん・相談事業＜別表Ｃ＞.....34
理事会・評議員会.....34

平成26年度　主要事業実績

平成26年度の日本経済は、金融政策などにより、大企業を中心に利益が回復し、雇用環境の改善、賃金の引上げを図る企業が出るなど緩やかな回復傾向が見られた。

区内中小企業においても、景況感の改善は見られるものの、円安による仕入れコスト高や消費税率引き上げによる影響を受けた。また、景況の改善に伴う深刻な人材不足や協力工場の減少等環境の変化に伴う新規顧客開拓が課題となった。

本年度当協会は、区内外の金融機関との業務協力協定書の締結を行い取引拡大の機会を図るとともに、航空機産業など新市場開拓への取り組みをおこなってきた。

海外での取引促進においては、大田区及び当協会がスイス・ヴォー州イヴェルドン市及びY－PARCとの間で、産業支援施設の相互活用プログラムの協定書を締結するなど一定の成果をあげることができた。

また、「下町ボブスレー」プロジェクトに関する情報発信に取り組み、大田区モノづくりのブランド化により新規取引開拓、町工場で働く従業員のモチベーション向上を図った。当プロジェクトが国のジャパンブランド育成支援事業に昨年度に引き続き採択され、英ファンボロー航空ショー視察等により海外販路の調査・開拓にも取り組んだ。

海外市場開拓・国際産業交流戦略：平成26年度は、円安傾向が長期化したことや中国、ASEAN 諸国等の経済成長に伴う継続的な人件費の上昇等の影響から、海外から大田区企業に寄せられる発注案件は新製品開発や改造に関するものや製造ラインを製作する等、高付加価値化してきている。中国市場に対しては、全体的に現地進出については消極的な判断に傾く企業が多い中、自動化機械メーカーの区内企業が現地ニーズの高まりを受けて進出するのをはじめ、産業連携の覚書を交わす上海市、常州市及び台湾とのネットワークを活用して積極的に現地販売網を築こうと展開する区内企業もある。ASEAN 市場については、タイのオオタ・テクノ・パークの大田区企業9社が順調に操業を続け、全社ともに現地顧客を獲得して数億円単位の売上げを伸ばしている他、区内企業数社もASEAN全体にビジネスの足掛かりとなる連携先を見つける等、広くASEAN市場全体を見渡す拠点が形成されつつある。さらに重点目標であった欧州における高付加価値の「イノベーション創出」の市場開拓を目指す支援事業も計画以上に推進できた。まず、スイス・ヴォー州では大田区企業が欧州市場に展開する拠点となる産業施設 Y-PARCが提供される協定書を締結し、さっそくこの事業を活用して区内企業1社が2か月間ヴォー州で FS(実現可能性調査)を実施した。また、ドイツ NRW 州では医工展示会 COMPAMED において具体的な取引成約が生まれた他、東京工業大学の事業と連携して現地のアーヘン工科大学との交流ができた。さらに、フランス・モゼール県における産業交流を担当する関連機関や企業との関係構築の基礎固めができた。今後、これら地域を主軸にして欧州における大田区中小企業のビジネス展開の可能性を高めていく。

国内取引拡大・広域連携戦略：「第7回大田区加工技術展示商談会」は100社の区内企業及び団体が出展し、2，149名の来場者との間で4，321件の商談が行われた。その結果、1，818万円を超える取引案件が成立した。10月には「受発注商談会」「第4回おおた研究・開発フェア」「医工連携

セミナー」など複数のイベントを同時開催する「おおた拡大ビジネスマッチングフェア」を開催した。2日間の会期中全体で1，826名の来場者を迎え、様々な形態で目標とする「イノベーション創出の機会を提供する場」として専門家からも高い評価を得た。この他、区内中小企業の技術力・開発力を農業機械製造や植物工場ビジネスに展開することを目的とする「農業機械技術研究会」を年5回実施した。 また、フードビジネス支援事業として、区内食品事業者の販売力、商談力のレベルアップを目的とした「食品事業者レベルアップセミナー」 「食品展示販売会共同出展」 を、また商機拡大を目的に百貨店、スーパー等のバイヤーとの商談の機会を提供する「フード展示商談会」を実施した。「フード展示商談会」では101件の商談を実施し、参加受注側企業の８割以上が成果について手ごたえを感じており、一定の成果を得る結果となった。

経営革新の促進戦略:「ビジネスサポートサービス」事業では、多様化する相談内容に対応するため、様々な分野において専門知識を有する支援協力者を充実させ、支援体制の強化を図った。相談企業 185 社（個人事業主も含む）に対して延べ 505 回の専門家派遣・支援を実施した。また、販路開拓、営業力強化を目的として前年度に引き続き「経営塾」を開催した。経営者および経営者を目指す管理者層に対する支援を行い、経営改革・販路開拓に意欲のある20名の参加を得た。「中小企業情報化支援」 では、IT （情報化支援） セミナーを３回実施。デジタルカメラの実地研修セミナー以外の２回はパワーポイント・エクセルの活用セミナーを実施。中小企業にとって実用的なセミナー内容であったことから、定員を超す申し込みがあった。 「大田のモノづくり技能ライブラリ事業」 では、加工など実際の技能を撮影してきた動画ライブラリをもとに、「大田の工匠」 に表彰された優秀な技能者の卓越した技術力の高さを国内外に幅広くＰＲするツールとして、総合版の技能ライブラリを2枚制作した（1枚13名 計26名）。「若者と中小企業とのマッチング事業」では、区内中小企業の持続した成長発展のため、次世代を担う後継者・若手人材の確保を促進するためのイベント「ヤングジョブクリエイション 2014」 を開催。高校生、大学生の他、一般を含めた５５８名の求職者が来場し、出展企業４０社との面談を行う等、採用活動の一助を担った。

新産業分野参入・創業支援戦略:「創業者支援事業」は、区内の新規創業や第二創業を促進させ、その成長を支援するために、創業相談窓口の設置や、販路拡大支援、賃貸事業所賃料助成等の施策を講じた。また、「ビジネスプランコンテスト」では、9 件の入賞プランを表彰した。受賞者とビジネスサポーターや後援企業等との交流会を開催し、創業の足掛かりをつくるためのプレゼンテーションの機会を設けた。「産学公連携推進事業」 では、産学公連携により経営体制の改善を求める企業を支援した。特に航空機部材に活用される複合材料や太陽熱・排熱利用等の新エネルギー分野進出に関する研究開発を支援した。「医工連携支援事業」 では、平成 24 年 11 月に設置した大田区医工連携支援センターを中心に医療現場のニーズと大田区企業のマッチングを進め、企業と大学・病院との連携による研究開発を加速させた。さらに、医工連携にとって最も重要な医療系市場の開拓のために、平成 25 年度から文京区に集積する多くの医療系製造販売企業との地域間・企業間連携を開始し、文京区、大田区、日本医療機器協会と初めての合同展示商談会を文京シビックホールにて開催した。

商店経営支援戦略:「繁盛店創出事業」では、課題を抱える11店舗に経営の専門家を派遣し、経営相談及び改善提案を行い、11店舗に店舗改善費用の一部を助成し、一部では即売上増となる成果を上げた。また、商業・サービス業事業者向けの情報誌「あきnow」の vol.4を発行。協会の商業支援事業の活用事例等の取材記事を中心に掲載して経営に有益な情報を提供し、商業支援事業の新規利用者の獲得に努めた。「おおた商い(AKINAI)・観光展 2014」では「来て見て"おおた"笑顔がいっぱい!」をサブタイトルとし、来場者に大田区の魅力を再発見してもらうことで、大田区の観光の振興及び出展者の売上増加に資することを基本コンセプトとして実施した。また今回は同時期に開催される蒲田エリアのイベントと連携して面的な広がりを図った。「あきない経営人材育成事例調査」では、大田区内の個店(小売店・飲食店・サービス業等)事業者 13 名を引率し、武蔵新田商店街の特徴ある事業展開をされる個店2店舗を訪問・見学。見学以外にも、訪問先2店舗の個店経営者から事業の取り組みについての講演と、同行した中小企業診断士から個店の魅力づくりをテーマに講義を行った。本年度で最終年度となる「商店(飲食店)表彰制度」では、新たに5店舗を表彰店舗、5店舗を審査会特別表彰店舗として選出・表彰した。また、飲食店経営の底上げを図るため、講師を招きWebサイトやソーシャルメディアの活用法等を中心とした、飲食店応援セミナーを2回にわたり実施した。

勤労者共済事業の普及戦略:加入勧奨の広報ポスター掲示及びリーフレットの配布を特別出張所や図書館、区内の公衆浴場、信用金庫等に依頼した。また、職員自ら区内企業を回り、事業所単位での加入促進に努めた。その他の加入促進活動としては、催事での広報ブース作りや DM 送付などを積極的に実施し新規会員の獲得に努め、加入事業所数、加入会員数共に増加する結果となった。(加入事業所数:1,659 社/前年度末比 55 社増、加入会員数:4,350 名/前年度末比 177 名増 ※平成 27 年 3 月末現在)

産業プラザの利便性向上戦略:本年度は、産業プラザの指定管理者3期目(平成24年度から平成28年度)の3年目である。利用促進策として什器備品や照明・AV機器等の更新を行い、施設利用者の使いやすさの向上を図った。併せて、京急品川駅の広告看板を継続し、新規利用者の獲得を推進した。また、特別会議室クローク内にシンクの設置や6階喫煙室のリニューアルを行い施設の機能維持、質感保持に努めた。さらに、大展示ホール外壁サイン設置やJR蒲田駅東口からの矢羽型誘導サインの設置を行い、来館者の利便性の向上を図った。自主企画展では、「おおた商い(AKINAI)・観光展 2014」は、大田区の魅力を再発見する場としてだけでなく、東日本大震災の被災地をはじめとする国内外の地域物産の展示販売や観光情報受発信の場として多くの来場者を集めた。今回は、JR蒲田西口の友好都市ふれあいひろば、さかさ川通りおいしい収穫祭、商店街どこあるスタンプラリー、蒲田映画祭などと連携して面的な拡大を図った。「第19回おおた工業フェア」では、日本の製造業の発展と新たな価値の創造への先駆けの地域となることを目指し、「大田区の新製品」、「大田区の先端技術」をアピールした。また、新分野・新技術へのチャレンジ「医工連携と航空宇宙」を特別テーマとする展示を小展示ホールにおいて開催した。

協会組織強化戦略:当協会定款に基づいて協会運営を行い、理事会6回(うち定款37条による決議

1回)、評議員会4回(うち定款21条による決議1回)と評議員選定委員会3回を開催した。1 月16日には、内閣府による当協会の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査が実施された。講評において大きな指摘事項がなかったが、文書事務等についての指導を受けたことをふまえ、今後も適切な運営を継続するため鋭意努力する決意を新たにした。検査の直後には、協会職員全員及び大田区職員、他の公益財団法人職員を対象とした研修「公益財団法人のイロハ」を実施し、公益法人制度の基本的な事項について再確認する機会を設けた。また、多角的な視点からの職員育成の一環としてメンター制度の導入や職層を超えた職員間での英会話研修など職員間の良好なコミュニケーションを構築することで組織力の向上を目指し、平成26年度の事業展開や組織力強化へと繋げた。今年度は、管理職となった協会固有職員を対象に管理職研修を実施し、協会を担う幹部としてのスキルアップを図った。さらには、協会職員全員を対象にセクシャルハラスメント・パワーハラスメント研修を実施し、職員のメンタルヘルスに配慮した協会の更なる就業環境の向上、雰囲気の良い職場づくりを図った。

1　大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業【定款第４条（１）関係】

①大田区産業振興普及事業

【決算額　（補助）977,950 円】

（ア）総合事業案内冊子の配布

（イ）産業情報冊子（大田区工業ガイド）の作成･配布（日本語版･英語版･中国語版）

（ウ）視察対応

国　　内	１１団体	８８人
海　　外	９団体（５か国）	１４２人

（エ）産業情報冊子の作成・配布

② 大田ブランド発信事業

【決算額　0】

平成１８年２月、大田工業連合会、東京商工会議所大田支部、大田区産業振興協会の３団体で発足した「大田ブランド推進協議会」は９期目を迎え、以下の登録企業ＰＲ事業を実施した。

大田ブランド推進協議会　登録企業 PR 事業

交流会	1 回：平成 27 年 2 月 25 日
講演会	1 回：平成 27 年 2 月 25 日
展示会出展	・モノづくりマッチング JAPAN2014（平成 26 年 10 月 15～17 日） ・第 18 回板橋産業見本市（平成 26 年 11 月 13～14 日）
視察会	1 回：平成 26 年 10 月 8 日
広報活動	・大田ブランド登録企業冊子の作成 ・ホームページへピックアップ企業（登録企業の取材）の掲載
大田ブランド おおた元気プロジェクト認定式	平成 27 年 2 月 6 日　於：おおた工業フェア

③ 産業情報誌の発行

【決算額　（補助）4,458,542 円】

区内製造業向けに支援策の概要を周知するために隔月（奇数月）情報誌を発行。

「テクノプラザ」	A4 判　各号 6,600 部	年 6 回発行　（5・7・9・11・1・3 月号）

④　産業情報受発信事業

【決算額（補助）15,061,249 円（自主）551,372 円（国補助）4,572,603 円（合計）20,185,224 円】

区内の産業振興のため新聞や情報誌により外部の情報を収集すると共に、区内企業の動向を幅広く社会に発信した。

産業情報の収集と提供	・産業関連情報誌の購入：78 冊　・寄贈：154 冊 ・新聞購入：3 紙
区内中小企業の情報交換促進	・区内中小企業の紹介動画を YouTube にて放映

協会ホームページによる情報発信	・随時発信（http://www.pio-ota.jp/） ・年間アクセス件数：463,041 件 ・年間閲覧ページ数（PV）：1,424,770 件
大田区製造業ポータルの運営	・登録企業数：1,627 件（平成 27 年 3 月末現在） （http://www.ota-tech.net/）
大田のモノづくり技能ライブラリ	大田区の表彰制度「大田区ものづくり優秀技能者（大田の工匠 100 人）」受賞者の協力を得て、優秀な技能者の卓抜した技術力の高さを国内外に幅広くＰＲするツールとして、総合盤の技能ライブラリを作成した。 ・ＤＶＤ作成枚数：2 枚のＤＶＤに収録（1 枚に 13 名ずつ）
下町ボブスレープロジェクトの支援	・国の補助金「ジャパンブランド育成支援事業」を活用した欧州滑走テスト、英ファンボロー航空ショー視察 ・おおた工業フェアなどでの実機展示 ・寄付の受領（26 年度　3,117,208 円、 延 15,869,404 円/平成 27 年 3 月末現在） ・寄付に基づく下町ボブスレー合同会社の活動経費に対する助成（500,000 円） ・4-5 号機製作などについて対マスコミ広報活動

2　区内中小企業の経営支援に関する事業　【定款第４条（２）関係】

① 中小企業情報化支援

【決算額　（補助）5,500,303 円　（自主）1,594,462 円　（合計）7,094,765 円】

IT 導入支援セミナー	デジタルカメラ活用！実地研修セミナー （平成 26 年 7 月 7 日）	受講者数：10 名
	自社の魅力を伝えるパワーポイント活用講座 （平成 26 年 11 月 13 日）	受講者数：20 名
	データを有効活用！EXCEL スキルアップ講座 （平成 27 年 2 月 25 日）	受講者数：20 名
デザイン相談	ホームページ・カタログ作成支援サービス （毎週火・水・金実施　※1 区分 1 時間 45 分）	新規利用者数：34 社 相談件数：334 件

② ビジネスサポートサービス

【決算額　（補助）9,861,969 円（自主）671,393 円　（合計）10,533,362 円】

（ア）支援協力者派遣

中小企業や個人が抱える経営上の様々な課題に、専門家（支援協力者）を派遣する相

談事業を実施した。国の「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」の申請をはじめとする各種補助金申請に関する相談が前年度に引続き多かった。また、商業・サービス業者による相談も増加した。

派遣回数	５０５回	支援協力者登録数	８４名

（イ） 経営支援セミナー

実施日	テーマ・講師	参加数
平成 27 年 2 月 5 日	おおた工業フェア併催環境対策セミナー 「環境・品質マネジメントシステム規格改訂等新しい市場からの要請を取り入れて、一歩先を進む環境経営を構築する」 講師：東工大特任教授　JEMAS 理事長　小山　富士雄　氏 Audix Registrars 社長　JEMAS 理事　斎藤　喜孝　氏 株式会社環境化学研究所　新井　恒隆　氏	49 名
平成 27 年 2 月 6 日	おおた工業フェア併催経営支援セミナー 「STOP 情報漏洩！～事業者が必ずとるべき対応策～」 講師：エリート･ウィンズ株式会社　代表取締役　鈴木 レオ　氏	9 名
平成 27 年 2 月 6 日	おおた工業フェア併催 CSR/CSV 対応セミナー 「社会的責任を果たすとともに、社会との共通価値を創造し、より進んだ・より強い企業体質を構築する」 講師：東工大特任教授　JEMAS 理事長　小山　富士雄　氏 Kaz ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ社長　JEMAS 理事　鈴木　和男　氏 ｼｽﾃﾑ経営研究所代表・JEMAS 副理事長　山科　謙一　氏	38 名
平成 27 年 2 月 6 日	おおた工業フェア併催事業承継セミナー 「後継者育成で、製造業の明日を作ろう！」 講師：事業承継センター株式会社　代表取締役　内藤 博　氏	19 名
平成 27 年 3 月 31 日	経営支援セミナー 「第１回ＩＳＯ認証取得支援セミナー～その先に何が見える？～」 講師：テュフラインランドジャパン株式会社 主任審査員　目黒　直之　氏	48 名

（ウ） 経営塾

大田区中小企業の営業力向上、経営力強化を目的とした経営塾を開催した。

実施日	テーマ・講師
平成 26 年 10 月 3 日、10 月 14 日、11 月 5 日、11 月 14 日の 4 日間	テーマ：「No.1戦略経営塾　～少ない販売費用で多くのお客様に選ばれる方法～」 講　師：NNA 株式会社　代表取締役　佐藤 元相 氏
平成 27 年 3 月 16 日	経営塾オプショナルセミナー「経営戦略＋知財戦略から紐解く立ち位置セミナー」 講師：中小企業診断士　高橋 規尊、弁理士　渡邊 泰師

（エ） 各種許認可等取得支援助成金の交付

	助成金交付企業数
エコアクション２１	4 社

③　中小企業知的財産戦略支援

【決算額　（補助）259,797円】

（ア）知的財産総合相談事業

特許相談件数	６４件

（イ）セミナー等啓発事業

実施日	テーマ・講師	参加数
平成26年10月9日	知的財産セミナー 「医工分野への参入企業がとるべき知財戦略!!」 講師：日本弁理士会関東支部　弁理士　橋本　虎之助　氏 弁理士　亀山　夏樹　氏	22名
平成26年12月2日	知的財産セミナー 「困難な技術課題こそ価値ある発明発想の源泉!!研究開発型企業として生まれ変わるノウハウを伝授します。」 講師：日本パテントデータサービス株式会社 重田　暁彦　氏	14名
平成27年2月6日	おおた工業フェア併催知的財産セミナー 「契約で失敗しないために-契約事始～契約初心者のためのイロハから～」 講師：正林国際特許商標事務所 所長　弁理士　正林　真之　氏 弁理士・弁護士　髙野　芳徳　氏	37名

④　繁盛店創出事業

【決算額　（補助）3,956,726円】

（ア）小売店及びサービス事業者の抱える課題解決のため、店舗経営の専門家による経営相談及び改善提案を行うほか、店舗の改装や宣伝広告などに要する改善費用の一部を助成した。

相談及び提案件数	店舗改善費用助成
１１件	１１件

（イ）あきない経営事例研究会

実施日	テーマ・内容	参加数
平成27年2月18日	『店舗の魅力づくりについて考えよう』 ① 特徴的な販売手法や商品開発で事業展開をしている2店舗の見学と店舗経営者2名による講演 ・世界で一つのプレゼント　北嶋屋(大田区矢口1-21-8) ・豆富司　みしまや（大田区矢口2-5-14） ② 髙田中小企業診断士による講演「繁盛店にしていくための店舗の魅力づくり」	１３名

（ウ）商業情報誌の発行

「あき now」発行	A4 判　年 1 回 (12,000 部)	商店（個店）向けの情報誌を発行し、商店街を中心に区内の店舗に配布した。

⑤　創業者支援事業

【決算額　（補助）16,677,420 円（自主）262,400 円　（合計）16,939,820 円】

区内における新規創業者の定着、成長促進のため支援を実施した。

創業相談窓口定期設置	相談件数　６４件
賃貸事業所賃料助成	１１社
販路拡大支援助成	７社

ビジネスプランコンテスト		申込件数　４６件　　表彰　９件	
表彰名		プラン名	表彰企業等
最優秀賞		チタン合金を使用した金属アレルギー対応装飾品の普及	M.A.S.Jewelry 鈴木 久子
優秀賞		キッチン用ワンプッシュ新型計量容器の卸販売	ONE スプーン 高久 敦之
協賛先特別賞	さわやか信用金庫賞	額縁風プランター（ポルトボヌール）による癒し空間の提供	espoir 加茂 祐子 河本 雅子
	ナムコ賞	独自開発のタッチセンサを利用した音声抱き枕サービスの提供	㈱ジョイアス
	日本工学院賞	漫画というツールを利用して、日本の商材の海外展開を行う。	GY Consultancy Group Inc
	城南信用金庫	訪日外国人向け飲食店情報サービス「Tokyo Dinner Ticket for Travelers」	㈱フレンバシー
	共立信用組合賞	「都会で炭焼きプロジェクト」	都会で炭焼きプロジェクト
	芝信用金庫賞	ものづくりプラットフォーム	ファクトピア 加藤 太一
	川崎信用金庫賞	目的に合わせて交流が図れるソーシャル・ネットワーキング・サービス	樋笠 裕介

⑥　工場表彰制度

【決算額　（補助）2,555,168 円　（自主）107,613 円　（合計）2,662,781 円】

申込企業	12 社
実地調査	平成 26 年 9 月 10 日、11 日、12 日
審 査 会	平成 26 年 11 月 10 日
認　　定	認定 12 工場、うち表彰 5 工場

	① 総合部門賞：3社 ・同和鍛造㈱・広沢電機工業㈱・㈱フルハートジャパン
	② 人に優しい部門賞：1社 ・荏原印刷㈱
	③ まちに優しい部門賞：1社 サンテックワールド㈱
	④ 認定工場：7社 ・㈱アイシーテクノ・㈲里中精機・㈱志賀機械製作所・日本コーキ㈱ ・北栄電気㈱・前場電機㈱・㈱リーテム
表　彰	平成27年2月5日「第19回おおた工業フェア」にて認定・表彰
累　計	218社（平成27年3月末現在）

⑦ 商店（飲食店）表彰制度

【決算額　（補助）3,570,647円　（自主）1,800円　（合計）3,572,447円】

申込企業	28社
実地調査	平成26年6月下旬～8月上旬
審査会	平成26年8月8日
表　彰	① 表彰店舗：5店舗 ・kitchen 直樹・たつ郎寿司・trattoria Rossole・銘酒と旬肴 樋川・寿司 川むら
	② 審査会特別表彰店舗：5店舗 ・インドアジアン レストラン&バー ビンティー・イタリアンダイニング ルーチェ ・串焼 季節料理 串幸・居酒屋 いのっ八・お料理 やまもと
表彰式	平成26年 10月18日「おおた商い・観光展」にて表彰

3　区内中小企業の取引拡大支援に関する事業　【定款第4条（3）関係】

① 受・発注相談

【決算額　（補助）33,161,274円　（自主）3,429,196円　（合計）36,590,470円】

（ア）相談業務

成立件数・金額	相談件数		巡回件数
１９４件	受注	発注	５６５件
７７，３５０千円	１５件	１，０２３件	

※（公財）東京都中小企業振興公社への企業登録　区内登録数（平成27年3月末）２，４９０社

（イ）発注開拓

市場開拓推進員及び担当職員による主に区外の大手優良企業への発注開拓

訪問先	９３件
活動成果	発注案件：１２件 受注金額：５０，２２５千円

（ウ）受・発注商談会

	実施日	参加企業（人数）	商談件数	成立件数 成立金額
第１回	第４９回モノづくり受発注商談会 in 大田 平成 26 年 10 月 1 日	２６４社 （３３９名）	７５６件	131 件 15,425 千円 (H27.4.27 現在)
第２回	第５０回モノづくり受発注商談会 in 大田 平成 27 年 2 月 6 日	２８７社 （４０５名）	８０１件	

（エ）誌上見本市

掲載産業誌	掲載回数	掲載企業数
工業製品情報誌「Product Navi」	１回	１０社

（オ）おおた拡大ビジネスマッチングフェア

実施事業名	来場者数、参加企業数、商談件数
第４回 おおた研究・開発フェア	出展者数： 85 団体（96 コマ） 来場者数： ２日（木）： 697 名 商談件数 3,246 件 ：３日（金）：1,129 名 商談件数 3,727 件 合　計 1,826 名 6,973 件 うち、可能性の高い商談件数 642 件 特別講演 ①講演日：10 月２日（木） タイトル：宇宙エレベーター建設構想 講　師：（株）大林組 宇宙エレベーター実用研究開発チーム 幹事　石川　洋二氏 参加者数　215 名 ②講演日：10 月３日（金） タイトル：農業生産に係わる機械・器具の現状と開発課題 講　師：（株）農援隊 代表取締役　小豆澤　斉氏 参加者数　206 名 出展者と企業とのマッチング会 開催日：10 月３日（金） 出展者（発注側）：７団体 大田区企業（受注側）：10 社 商談件数：11 商談
国際取引商談会 in 大田	開　催　日：10 月２日（木） 参加企業数：56 社 （発注側 22 団体、受注側(大田区企業) 34 社） 商 談 件 数：74 件
医工連携推進セミナー	開 催 日：10 月３日（金） 来場者数：40 名

（カ）農業機械技術研究会

	実施日時・概要	参加人数
第１回	5月23日（金）15:00～17:00 ・植物工場についての学習 ・葉菜類（レタス、水菜など）の栽培	１９名
第２回	7月25日（金）14:00～16:00 ・植物工場の実際について学習 ・ハーブ類の栽培	１８名
第３回	9月26日（金）14:00～16:00 ・植物工場における効果的な生産方式についての学習 ・レタス、ハーブ類の収穫	１６名
第４回	11月28日（金）15:00～17:00 ・植物工場における機器開発について学習 ・薬用植物の栽培	１２名
第５回	1月23日（金）14:00～16:00 ・総括	９名

（キ）フードビジネス支援事業

（ａ）食品事業者レベルアップセミナー

開催日：平成26年5月21日（水）・6月1日（水）

講　師：(株)高島屋 クロスメディア事業部 営業第4グループ 課長 野口昌彦 氏

参加事業者：8社

（ｂ）食品展示販売会共同出展

展示会名	会期及び会場	出展企業
かもめマルシェ （平成26年6月期）	平成26年6月28日（土） 横浜ベイクウォーター3F　ゲート広場	計４社
太陽のマルシェ （平成27年1月期）	平成27年1月10日（土）・11日（日） 月島第二児童公園	計３社 （10日2社、11日1社）

（ｃ）第２回フード展示商談会 in 大田（個別商談会＋交流・展示会の２部制）

日時	平成27年3月5日（木）13：30～17：30
参加企業	41社（大手食品バイヤー12社、中小食品事業者29社）
商談件数	個別商談件数87件＋交流・展示会でのフリー商談14件

② 海外取引相談

【決算額（補助）17,627,155円（自主）490,000円（国補助）6,011,367円（合計）24,128,522円】

（ア）海外取引相談

（ａ）海外取引相談（中国を除く）	（ｂ）中国取引相談
３１４件	５４３件

（イ）海外取引セミナー

実施日	テーマ・講師	参加人数
平成 26 年 5 月 19 日	中国経済セミナー 「日系中小企業による中国市場開拓の現状と課題」 講師： JETRO アジア経済研究所 研究院 丁 可 氏	２９名
平成 26 年 8 月 4 日	台湾経済セミナー 「台湾企業との連携によるビジネスチャンスの拡大」 講師: 台北駐日経済文化代表所 副代表 余 吉政 氏	３２名
平成 26 年 9 月 16 日	欧州経済セミナー 「スイス・フランスの市場性と投資環境」 講師: １．スイス・ヴォー州 経済開発局 日本代表 Robert Champoud 氏 ２．フランス・モゼール開発局 在日 代表 山田 和男 氏	１３名
平成 27 年 2 月 5 日	タイ経営セミナー 「タイの新しい投資環境と経営実例紹介」 講師：１．カシコン銀行 東京事務所所長 S・チャクリット氏 ２．株式会社ヤシマ 代表取締役社長 箕浦 裕 氏	２２名
平成 27 年 2 月 5 日	欧州投資セミナー 「インダストリー4.0 と大田区企業の商機」 講師： ㈱NRW ジャパン 代表取締役社長 G・ロエル氏	３３名

（ウ）外国語文書翻訳

文書翻訳サービス	５９件

（エ）中国（台湾含む）市場開拓及び産業交流

（ａ）中国との産業交流

交流日	相手先	内 容
平成 26 年 5 月 13 日	台湾工業技術研究院	台湾電気電子工業同業公会との連携及び TAITRONICS 出展に関する打ち合わせ。
平成 26 年 5 月 19 日	台湾金属工業研究発展センター	今年度の連携事業協議及び情報交換。
平成 26 年 6 月 24～27 日	中国常州市武進区 上海市中小企業発展服務センター	両機関との協議書または覚書を更新。 今後の双方企業間の交流について意見交換。
平成 26 年 7 月 22 日	中国常州市武進区	企業間連携と産業支援に関する意見交換。
平成 26 年 7 月 23 日	台湾工業技術研究院	加工技術展示会への出展呼びかけ。
平成 26 年 7 月 24 日	台湾電気電子工業同業公会	10 月の訪台と、CEATEC 時の企業マッチングに関する打ち合わせ。
平成 26 年 10 月 2～3 日	台湾金属工業研究発展センター	大田区主催の研究開発フェアに傘下企業とともに出展するための情報交換。

平成 26 年 10 月 7～10 日	・台湾金属工業研究発展センター ・FOXLINK 社 ・タイトロニックス見本市 ・経済部 ・台湾工業技術研究院 ・台湾金属工業研究発展センター	連携強化に向けた情報・意見交換。発注開拓。
平成 26 年 10 月 15 日	台湾金属工業研究発展センター	機械電気専門メーカーとの連携関係の構築について意見交換 大田区の機械電気関連企業の訪問。
平成 26 年 11 月 7 日	中国河北省邢台市外事弁公室	同市の職員が来訪し、双方の産業支援策や投資環境につき情報交換。
平成 26 年 12 月 18 日	台湾工業技術研究院日本事務所	定期的連絡会(両方企業の連携案件確認)
平成 27 年 1 月 21 日	台湾金属工業研究発展センター	金型関連セミナーの講師派遣の依頼受理。
平成 27 年 2 月 12 日	常州西太湖科技産業園管理委員会	同会の職員が来訪し、双方の産業支援策や投資環境につき情報交換。
平成 27 年 2 月 19 日	(公財)交流協会(台湾)	日台産業架け橋プロジェクトの申請及び産業支援に関する情報交換。

（b）中国市場勉強会

開催数	6回 (原則2ケ月に1回)	参加区内企業	15社（20名）

（オ）タイ市場開拓及び産業交流

交流日	相手先	内　容
平成 26 年 4 月 23 日	タイ投資委員会　東京事務所	東京事務所の新公使であるサリン氏が来訪。タイと大田区の連携について意見交換を行った。
平成 26 年 6 月 16 日～21 日	タイ投資委員会、ＪＥＴＲＯ、ＡＭＡＴＡ社、タイ・サミット社、大田精工、オオタ・テクノ・パーク入居企業等	タイ国際展示場で開催された Manufacturing Expo2015 視察を視察した。併催のものづくり商談会@バンコクでは、大田区企業 9 社が事前に商談希望先を特設 WEB サイトにて選択した状態で行い、5 件が成約した。更に OTP や連携機関に職員 2 名が区内企業を引率し事業展開を支援した他、AMATA 社と MOU 更新、BUILD の協力のもとタイローカル企業の工場見学や交流会を行った。

平成 26 年 11 月 20 日	JATCO タイ工場視察	29 社 38 名を現地引率し、アマタナコン工業団地内にある JATCO を視察訪問。
平成 27 年 3 月 13 日	タイ投資委員会（BOI） タイ HQ	東京事務所所長、BUILD ディレクターとして大田区と深い関わりのあるチャニン氏が来訪。4 月からオオタ・テクノパークが位置するチョンブリ県担当になるということで、タイと大田区の連携について意見交換。
平成 27 年 3 月 16 日～20 日	オオタ・テクノパーク、野坂電機、産技研バンコク事務所、東京通信機材、東陽機器、GLASEL、ＪＥＴＲＯ、アユタヤ銀行、カシコン銀行	職員 2 名が、区内企業 1 社を現地引率し BOI 申請書類の不備・不具合の案件を調整。また各進出済み大田区企業の工場や新規案件を持つ企業、支援機関を訪問。

（カ）その他ＡＳＥＡＮ諸国の現地調査

派遣日	国名	内容
平成 26 年 4 月 18 日	ベトナムホーチミン市人民委員会	ホーチミン市より約 20 名が来日。テクノフロントを訪問。大田区の工業についてプレゼンした後、大洋メタルワークス㈱、㈱東新製作所を視察。 （受入主体は産業振興課）
平成 27 年 2 月 4 日	ベトナム大使館	二等書記官のゴック氏が来訪。.ベトナムと大田区の連携について意見交換。

（キ）諸外国との産業連携の構築

交流日	国　名	内　容
平成 26 年 4 月 1 日	オーストリア	オーストリア大使館より、同国企業団の産業視察の受け入れの打診。
平成 26 年 4 月 10 日	アメリカ	バージニア州東京事務所を訪問し、今後の産業連携について協議。
平成 26 年 4 月 11 日	オーストラリア	西オーストラリア州東京事務所を訪問し、今後の産業連携について協議。
平成 26 年 4 月 15 日	欧州	日欧産業協力センターを訪問し、国際産業連携に関する覚書を更新。
平成 26 年 7 月 24 日	ポルトガル	ポルトガル投資貿易振興庁の日本代表と面談し、双方の市場性や投資環境について情報交換。
平成 26 年 8 月 5 日	スイス	ヴォー州経済開発局の日本代表所の開所の挨拶と今後の連携に関する打ち合わせ。

平成 26 年 9 月 4 日	韓国	韓国中小企業振興公社の新任日本所長の挨拶と韓国経済新社記者との情報交換。
平成 26 年 10 月 9 日	韓国	サムスン電機の Tier1 企業約 30 社が来日。大田区企業 3 社が自社製品・技術についてのプレゼンテーションを実施、交流。
平成 26 年 10 月 14 日	スイス	ヴォー州経済開発局との連携関係強化の確認と、ソフト・ランディング・プログラムに関する打ち合わせ。
平成 26 年 11 月 13 日	ドイツ	Willilch 市の市長を訪問。双方の市場性と投資環境に関する情報交換。
平成 26 年 11 月 13 日	ドイツ	デュッセルドルフ市役所を訪問。双方の市場性と投資環境に関する打ち合わせ。
平成 26 年 11 月 21 日	ドイツ	NRW 州東京事務所の社長と面談。COMPAMED の出展報告及び来年度事業に関する意見交換。
平成 27 年 2 月 2 日	韓国	ソウル市副市長が来訪。中小企業支援に関する情報交換。
平成 27 年 2 月 13 日	韓国	韓国小工人振興協会会員企業 16 名が来訪。大田区および大田区企業の PR を行った、西村製作所への視察を引率。
平成 27 年 2 月 17 日	アメリカ	ウェストバージニア州事務所を訪問。おおた研究開発フェアへの勧誘。
平成 27 年 3 月 10 日	アメリカ	在日アメリカ州政府事務所が行っている定例会（アメリカ州政府協会（ＡＳＯＡ）定例会）において大田区や主催事業の PR を実施。
平成 27 年 3 月 10 日	フランス	モゼール県開発局局長が来館。区長への表敬訪問後、大田区企業を視察。

③ 大田区加工技術展示商談会

【決算額　（補助）9,864,172 円　（自主）1,620,000 円　（合計）11,484,172 円】

開催日：平成 26 年 6 月 13 日（金）　10:00～17:00

参加社	来場者	商談件数	取引成立金額
１００社	２，１４９名	４，３２１件	１８，１８４千円

④　国内見本市への出展支援

【決算額　（補助）21,093,536円　（自主）8,106,094円　（合計）29,199,630円】

展示会名	会期及び会場	成果	出展企業
MEDTEC Japan 2014	平成26年4月9日～11日 3日間　東京ビッグサイト	引合814件 成約見込139件	8社
第24回 ファインテックジャパン	平成26年4月16日～18日 3日間　東京ビッグサイト	引合450件 成約見込84件	3社
第18回機械要素技術展	平成26年6月25日～27日 3日間　東京ビッグサイト	引合1,180件 成約見込139件	12社
第24回 インターフェックスジャパン	平成26年7月2日～4日 3日間　東京ビッグサイト	引合42件 成約見込7件	1社
国際モダンホスピタルショウ2014	平成26年7月16日～18日 3日間　東京ビッグサイト	引合124件 成約見込34件	3社
北洋銀行ものづくり テクノフェア2014	平成26年7月24日 1日間　アクセスサッポロ	引合248件 成約見込49件	8社
第16回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー	平成26年8月20日～22日 3日間　東京ビッグサイト	引合49件 成約見込6件	1社
Inter Opto2014	平成26年10月15日～17日 3日間　パシフィコ横浜	引合304件 成約見込80件	5社
ものづくりNEXT↑2014	平成26年11月12日～14日 3日間　東京ビッグサイト	引合238件 成約見込20件	1社
第36回 ジャパンホームショー	平成26年11月12日～14日 3日間　東京ビッグサイト	引合59件 成約見込15件	1社
第5回LED/有機EL照明展	平成27年1月14日～16日 3日間　東京ビッグサイト	引合226件 成約見込61件	3社

⑤　海外見本市への出展支援（併催：商談会、交流会及び視察）

【決算額（補助）8,989,987円（自主）2,246,506円（国補助）12,054,442円（合計）23,290,935円】

展示会名	会期及び会場	成果	参加企業
ＭＴＡベトナム2014	平成26年7月8日～11日 4日間　SECC展示場	引合　262件 成約見込　61件	4社

ＦＢＣ上海 2014	平成 26 年 9 月 3 日～4 日 2 日間　上海世貿商城	引合　　214 件 成約見込　104 件	１０社
COMPAMED 2014	平成 26 年 11 月 12 日～14 日 3 日間　ﾒｯｾ･ﾃﾞｭｯｾﾙﾄﾞﾙﾌ	引合　　101 件 成約見込　30 件	5 社
タイ・メタレックス 2014	平成 26 年 11 月 19 日～22 日 4 日間 ﾊﾞﾝｺｸ国際貿易展示場 11 月 20 日(商談会＆交流会：展示場内大会議室⇒視察)	展示会： 引合　　522 件 成約見込 99 件 商談会： 商談　　44 件 引合　　23 件	展示会：5 社 商談会：大田区 11 社 タイ　17 社 交流会：　100 名 JATCO 視察：29 社 38 名

⑥　自主企画展示会（産業フェア）

【決算額　（補助）22,422,770 円　（自主）5,917,577 円　（合計）28,340,347 円】

（ア）「おおた商い(AKINAI)・観光展 2014」

～来て見て“おおた”笑顔がいっぱい！～

会　　期	出展者数	入場者数
平成 26 年 10 月 18 日～19 日　2 日間	１２３社（団体）	１０，３８７人

概要	コンセプト	大田区の観光産業および区内商店、商品を紹介。区内はもとより国内外の地域物産や観光情報の交換により大田区の魅力を再発見する場として開催。NHK 連続テレビ小説「花子とアン」放映、「下町ボブスレー」など、大田区に高い関心が集まる中、「来て見て“おおた”笑顔がいっぱい！」をサブタイトルとし、区民には大田区の魅力を再発見してもらうと同時に、国内外からの来場者には大田区の商店や観光の魅力を知ってもらい、大田区の観光の振興及び出展者の集客拡大に資することをコンセプトとした。また、蒲田地域で同時期開催の「友好都市 ふれあいひろば」、「さかさ川通り おいしい収穫祭」、「商店街どこある スタンプラリー」、「蒲田映画祭 2014」の４つのイベントを連携させる「面的広がり」を展開し、集客拡大と地域連携の深耕を図った。
	出展内容	・「自慢の味覚コーナー」「おしゃれコーナー」「匠の技コーナー」「にぎわいコーナー」「がんばれ東日本応援コーナー」「『おおたから世界へ』コーナー」「ふるさとの味覚コーナー」「大田区商店街連合会」のエリアに分け、名品や伝統工芸、現代の匠の技など、大田区の魅力を広く紹介。 ・東日本大震災で被災した、岩手県、福島県及び茨城県の「自然の恵み豊かな食品」などの展示即売を実施。
	集客	・出展者による「お子さんと楽しめるワークショップ」の実施
	会期後の売上増策	・売上アップを目指すセミナーを 2 回開催（平成 26 年 6 月 25 日開催「” この店に行ってみたい“と思わせる仕組み・ツール作りセミナー」臼田克紀氏（13 名）・9 月 4 日開催「おおた商い観光展出展活用術」髙田泰弘氏（23 名）） ・いいね！グランプリ、新たに「おおたの土産部門」を追加。

18日	表彰式	・「おおたの逸品」認定表彰式（大田区商店街連合会） ・「大田区飲食店表彰事業 OTA!　いちおしグルメ」表彰式 （(公財) 大田区産業振興協会）
	シネパラ蒲田 ～蒲田映画祭 2014	・映画上映＆ﾄｰｸｼｮｰ（洲崎パラダイス　赤信号（18 日上映：83 人）） 及びシネマトーク（妖精の輝き　オードリー・ヘップバーン（49 人）） （　観光課・（一社）大田観光協会　）
	「富士山」描写実演	銭湯背景画絵師　丸山清人氏
	まち歩きツアー	ボランティアガイドと行くまち歩きツアー 歴史探訪＆魅力発見！羽田さんぽ（大田観光協会：11 人）
	ステージイベント	大田区「ゆるキャラ大集合」・みさ＆ひろし・怜良～ley-ra～
19日	表彰式	「いいね！グランプリ」（(公財) 大田区産業振興協会）
	シネパラ蒲田 ～蒲田映画祭 2014	・映画上映＆ﾄｰｸｼｮｰ（「愛のお荷物」加藤武氏（19 日上映：242 人）） 及びシネマトーク（空飛ぶ金魚と世界のひみつ（21 人））
	ステージイベント	・荏原流れ太鼓・花水木・Beans Family・Augment
両日	蒲田地域商店街イベント	商店街どこあるスタンプ★ラリー（445 人） （大田区商店街振興組合連合会）
	お子さんと楽しめるワークショップ	・トートバッグにぬり絵をしてみよう（13 人） ・積木で遊ぼう（30 人）
	蒲田映画祭 2014 特別企画展示	①　『蒲田行進曲は永遠に！』　②続・小沢昭一心の部屋

（イ）第 19 回 高度技術・技能展「おおた工業フェア」 ～目指せ、宇宙品質～

会　　期	出展者数	入場者数
平成 27 年 2 月 5 日～7 日　3 日間	１１４社(団体)	４，４１７人

概要	区内中小企業の取引促進・販売拡大、情報の交換と技術交流の推進を目的に開催。	
	テーマ展示	中小製造業の新たな成長市場として注目されている新分野や次世代産業分野である「医工連携」や「航空宇宙」をとりあげ、「新分野・新技術へのチャレンジ（医工連携と航空宇宙）」をテーマとして小展示ホールにおいて特別展示を行った。大田区が進める医工連携支援事業と、実際に医工連携に取り組んでいる病院、大学、区内その他の中小企業を紹介。また、高度な技術が必要とされる航空宇宙分野では「航空宇宙産業に挑む、大田区中小と大手との連携ネットワーク」として、大田区中小製造業と大手企業との連携ネットワークにより、元の材料が優れた技術・技能により加工され、高度な計測技術により測定される様子をモノづくりの一連の流れをもって紹介した。
5日	表彰式	・第 26 回大田区中小企業新製品・新技術コンクール表彰式 ・平成 26 年度大田区優工場表彰式
	講演	基調講演「『はやぶさ 2』太陽系を駆ける―6 年、50 億 km を超える長旅へ―」（244 人） ＮＥＣ航空宇宙システム(株)　小笠原 雅弘 氏

5日	併催	・下町ボブスレー展示（2/5～2/7） ・おおたオープンファクトリーパネル展示（2/5～2/7） ・東京都立六郷工科高等学校デザイン工学科パネル展示（2/5～2/7） ・ドクターヘリ模型展示（協力:川崎重工業(株)／模型製作:(株)共立模型）（2/5～2/7）
	セミナー	・第26回大田区中小企業新製品・新技術コンクール受賞企業プレゼンテーション
		海外セミナー ①アジア関連（22人） 1 「AEC発足後のタイにおける市場性と新しい投資環境について」 カシコン銀行 東京事務所所長 スワンナチョート・チャクリット氏 2 「オオタ・テクノパークにおける経営事例～成功の鍵～」 (株)ヤシマ 代表取締役社長 箕浦 裕 氏 ②欧州関連（30人） 「ドイツの次世代ものづくり“Industrie4.0“ 大田区企業のドイツ・NRW州における商機」 株式会社NRWジャパン 代表取締役社長 ゲオルグ・K・ロエル 氏
		東京工業大学技術交流セミナー（51人） 「アクチュエーター入門と先端研究概要」 東京工業大学大学院理工学研究科機械宇宙システム専攻教授 鈴森 康一 氏
		環境経営セミナー（49人） 「環境・品質マネジメントシステム改訂等 新しい市場からの要請を取り入れて、一歩先を進む環境経営を構築する」 ①環境経営とマネジメントシステム 東工大特任教授・JEAMS理事長 小山 富士雄 氏 ②環境・品質等ISO2015年改訂のポイント Audix Registrars社長・JEMAS理事 斎藤 喜孝 氏 ③化学物質管理の最近の動向 (株)環境化学研究所 新井 恒隆 氏
6日	併催	・第50回モノづくり受発注商談会 in 大田 ・出展者プレゼンテーション ・おおた少年少女発明クラブ展示（2/6～2/7） ・大田ブランド おおた元気プロジェクト認定式
	セミナー	CSR/CSVセミナー（38人） 「社会的責任を果たすとともに、社会との共通価値を創造し、より進んだ・より強い企業体質を構築する～各種企業の実例を挙げて幅広く解説します～」 ①中小企業の体質強化には何が必要か 東工大特任教授・JEMAS理事長 小山 富士雄 氏 ②社会的責任を果たし、一歩進んだ企業構築へ Kazコンサルティング社長・JEMAS理事 鈴木 和男 氏 ③社会と価値観を共有しての企業の体質強化 システム経営研究所代表・JEMAS副理事長 山科 謙一 氏

6日		ビジネスサポートセミナー（9人） 「STOP 情報漏洩！～事業者が必ずとるべき対応策～」 エリート・ウイン(株) 代表取締役 鈴木 レオ 氏
		太陽光発電セミナー(東京都＆大田区連携事業) ～補助金や設置メリットのご紹介～（30人） ①太陽光発電普及に向けた都の取組 東京都環境局地域エネルギー推進課 ②「ものづくり工場立地助成」の紹介 大田区産業振興課 ③太陽光発電向けローン「太陽のチカラ」 東京都民銀行 営業統括部 ④事業所等への設置事例の紹介 牧野電設工業(株)店長 川島 秀幸 氏
		先端技術セミナー（35人） 「プリンテッドエレクトロニクスの最新技術動向」 (独)産業技術総合研究所フレキシブルエレクトロニクス研究センター 先進機能表面プロセスチーム 主任研究員 山本 典孝 氏
		知財セミナー（37人） 「契約で失敗しないために―契約事始」 正林国際特許商標事務所 所長・弁理士 正林 真之 氏 弁護士・弁理士 高野 芳徳 氏
		事業承継セミナー（19人） 「後継者育成で、製造業の明日を作ろう！」 事業承継センター(株) 代表取締役 内藤 博 氏
		東京大学技術交流セミナー（56人） 「加工技術で医療はもっと良くなる」 東京大学工学系研究科機械工学専攻 教授 杉田 直彦 氏
7日	併催	・大田工業ガイドツアー（23人） ・ワークショップ（42人） 「日本宇宙少年団 宇宙セミナー」人類は火星を目指す！バルーンローバーを作って動かそう 公益財団法人日本宇宙少年団（YAC） 宇宙兄さんズ（小定 弘和 氏・小島 俊介 氏）
	講演	特別講演「宇宙開発の夢・技術」（247人） 公益財団法人日本宇宙少年団 理事長 松本 零士 氏

4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業 【定款第4条（4）関係】

① 求人企業ガイド

【決算額 （補助）1,621,554円 （自主）1,875,836円（合計）3,497,390円】

実施項目	対象・内容	掲載社数・更新数等
求人情報サイト「おしごとナビ大田区」 （平成27年3月末現在）	求人広告掲載企業	120社
	新規登録企業件数	25件

企業取材（ＰＲ）・コラムの更新	企業ＰＲの取材	12回
	コラム（大田区そぞろ歩き）の更新	16回
「大田区ものづくり企業 ミニ面接会」 ※大学への出張型の面接会 （平成27年2月20日実施）	参加企業	7社
	参加学生	14名
	参加企業3社が工学院大学の学生（大学4年生、修士2年生）4名を採用	

② 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業

【決算額　（補助）1,796,230円　（自主）100,000円　（合計）1,896,230円】

(ア) 高等専門学校を活用した中小企業人材育成事業

都立産業技術高等専門学校(高専)の教授陣と施設を活用し、中小企業の若手技術者育成を目的として実施している。基礎講座は品川区と連携して通学型で実施、出前講座は大田区独自で出張型での展開をしている。

講座科目別実績

	科　目	単位 2h/1回	開催期間	受講者数()内は大田区在勤
基礎講座 (大田区・品川区)	機械設計のための基礎	１５	9/12～10/20	２２(１３)
	工業材料の基礎	8	10/21～11/11	１２(１１)
	加工と測定の基礎	8	11/13～12/2	１２(１２)
	デジタルマニュファクチャリング体験講座	6	12/4～12/18	１０(6)
	電気回路の基礎	１０	9/30～11/5	１６(１３)
	シーケンス制御の基礎	１０	10/29～12/4	１２(１２)
	電子回路設計法	3	9/10～9/19	４(4)
出前講座 (大田区)	電気回路の基礎とシーケンス制御	4	9/18, 25, 10/2, 9	５(５)
	電気回路の基礎とシーケンス制御	4	10/16, 20, 23, 27	１０(１０)
	デジタルマニュファクチャリング	2	11/18, 20	５(５)
	電気回路の基礎とシーケンス制御	3	12/1, 8, 15	１０(１０)

(イ) おおた少年少女発明クラブ

活動期間	会　場	テ　ー　マ	参加 延べ人数
平成26年4月19日 ～ 平成27年3月7日 (20回)	大田区産学連携施設 多目的室	「プチロボ」製作及び競技会 「おどるマルメロちゃん」製作 「変身マルメロちゃん」製作 「電気回路基礎（LED、スイッチの取り付け）」 「ピカピカツリー」製作及び発表会 「キュートロボ」製作及び競技会 「㈱ＤＩＳＣＯ工場見学」	５９８名

③　若者と中小企業とのマッチング事業

【決算額　（補助）4,304,546 円】

大田区の中小企業の持続した発展の鍵となる次世代を担う後継者・若手人材の確保についてイベント等を通じて推進した。

実　施　日	イベント名	参加求職者数
平成26年10月7日	ヤングジョブクリエイション２０１４ 「若者と中小企業とのマッチングフェア」 参加企業：４０社　大展示ホール	５５８名

④　内職あっせん・相談事業

【決算額　（補助）5,779,576 円】

項目	内容	回　数　等
あっせん・相談	あっせん・相談状況	＜別表Ｃ＞参照
	出張相談事業 毎月（7、8、12 月を除く）第２金曜日 時間：10:00～12:00 ハローワーク大森「蒲田ワークプラザ」(月村ビル４階)内に専用ブースを借り内職相談者と面談	年９回
求人開拓	求人企業への企業訪問	延６２社
普及・啓発用印刷物の作成（内職求人開拓用印刷物の作成及び配布）	蒲田・大森・雪谷法人会 会報封入用	約７，５００枚
	蒲田・大森青色申告会 相談会配布用・会報封入用	約５，０００枚
	大田区勤労者共済 会報「ふれあい」折込み用	約１，６００枚
	テクノプラザ封入用	約４，８００枚

5　区内中小企業の技術開発支援に関する事業　【定款第４条（５）関係】

①　新製品・新技術コンクール

【決算額　（補助）2,067,658 円　（自主）4,789 円　（合計）2,072,447 円】

応募件数	審査会	表　彰
21 社 22 点	平成26年10月17日 平成26年10月30日	最優秀賞１点 優秀賞２点 奨励賞２点 その他各賞４点 平成27年２月５日第19回おおた工業フェアにて表彰

表彰企業一覧

最優秀賞	太洋塗料株式会社	塗って、剥がせて、また貼れる水性塗料マスキングカラー
優秀賞	トキ・コーポレーション株式会社	バーチャルフィラメント技術
	株式会社南武	AOC(Automatic Oil Cooling)・作動油循環シリンダ
奨励賞	高電工業株式会社	マイクロアレイスキャナー Bio Master-1
	東京高圧工業株式会社（共同：㈱日昌製作所/アロニクス㈱）	ダイカストアルミと樹脂の接合
おおた福祉・医療賞	株式会社東京ワイヤー製作所	救急医療用ワイヤーソー（キュアカッター）
おおたECO推進賞	株式会社共立理化学研究所（共同：㈲環境資源システム総合研究所）	TOCアナライザー
おおた秀逸技能賞	株式会社西村製作所	高性能サーボプレス加工機による複雑形状に対応する微細穴プレス加工技術
テク乃ちゃんイチ押し賞	平賀機械工業株式会社	パウチ高速型給袋装置

② 研究開発マッチング事業

【決算額 (補助)10,929,932円 (自主)1,799,256円 (合計)12,729,188円】

大学研究室や研究・技術開発者の方が必要とする実験用機材や試作品の製作・加工を、大田区企業に紹介。また、会員企業を募り、会員に対し有益な情報発信を行うとともに、会員企業のPRも行った。

項目	対象・内容目的等	参加社数・発行部数等
参加大田区企業	会員企業	１４３社
大田区研究開発型企業ガイド２０１４(冊子)	各種展示会等で情報発信	３，０００部
大学や企業研究機関からの技術相談	ウェブサイト、展示会などで当協会に直接研究開発ーズが持ち込まれた案件	１５０件
会員企業と共同した展示会への出展	研究・技術開発者向けに対する会員企業ＰＲ	１８展示会
会員企業への情報発信	大手企業とのマッチング事業、協会や国・区が行う事業紹介などをメールマガジンとして会員企業に情報発信	１８回

大手企業との技術マッチング会	区内中小企業と大手企業との技術マッチング会 マッチング機会の増大	５回
研究開発マッチングセミナー	日時　平成２７年３月２３日（月） 会場　コンベンションホール 講師　森本博行氏（首都大学東京大学院社会科学研究科教授） 演題　「モノづくり企業のイノベーション戦略」	参加者７０名

③　新事業活動助成

【決算額　(補助) 1,988,000 円　(自主) 39,200 円　(合計) 2,027,200 円】

項目	内容	対象グループ数・参加回数
新事業連携活動助成	中小企業が連携して実施する新事業活動に対する助成事業 (活動経費の一部を助成)	10 企業グループ ① nbike 開発プロジェクト ② OTA 耳鼻咽喉科器具製作検討会 ③ OTEST-トライワン ④ カキ養殖プログラムチーム ⑤ チーム注射器 ⑥ 医療機器製作チーム ⑦ 小型次亜水装置プロジェクト ⑧ 新 3D プリンタ開発試作グループ ⑨ 先天性疾患患者の未来を救う会 ⑩ 漏血センサ用コネクタ開発グループ
大田区異業種交流グループ連絡会	理事会に参加	年４回

④　産学公連携推進事業

【決算額　(補助) 7,804,585 円　(自主) 80,000 円　(合計) 7,884,585 円】

(ア) 情報発信　メルマガ発行・産学連携ホームページの運営

産学連携に関する情報に惹句を添えて配信

項目	発信回数
ニューズレターの配信	産学連携情報を年間 10 回発信
産学連携ホームページ	セミナー開催、最新情報を随時発信

(イ) 産学連携コーディネーターによる相談業務の実施

項目	相談件数
企業と大学のコーディネート業務、情報提供等 産学公交流相談	８２０件
産学公交流相談の内、医工連携相談	４７３件

（ウ）セミナーの開催

過去76回開催のセミナー実績を踏まえ東工大との産学連携・技術交流の一層の強化を図るとともに、特に大田区企業に対しては実質的に効果のあるセミナー・研究会を開催している。

（a）東京工業大学技術交流セミナー　　平成26年4月1日～平成27年3月31日

	開催日	テーマ及び講師	参加数 0内は大田区在勤
第77回	平成26年9月2日	東京工業大学　大学院理工学研究所　吉野雅彦　教授 『超微細加工が生み出す表面機能～ 小さな凹凸がもたらすイノベーション ～』	２３ （１６）
第78回	平成27年1月13日	東京工業大学　大学院理工学研究科　平井秀一郎　教授 『次世代の二次電池・燃料電池の研究開発に求められる「ものづくり」』	１５（6）
第79回	平成27年2月5日	東京工業大学　大学院理工学研究科　鈴森康一　教授 『アクチューター入門と先端研究概要』	５１ （１７）
第80回	平成27年2月23日	東京工業大学　大学院理工学研究科　岡田昌史　准教授 『人から機械へ、機械から人へ、人から環境へ～ロボット制御の基礎と応用～』	１６ （１２）
第81回	平成27年3月17日	東京工業大学　大学院理工学研究科　宮本恭幸　教授 『パワーデバイスの現状とワイドバンドギャップ半導体によるこれからの進歩』	１３（４）

（b）東京工業大学　流体圧アクチュエータ技術研究会

	開催日	テーマ及び講師	参加数
第1回	平成26年9月22日	東京工業大学 大学院理工学研究科 機械制御システム専攻 塚越　秀行 准教授 『柔軟流体アクチュエータの新展開とその医療・レスキュー領域への応用』	8（7）
第2回	平成26年10月17日		

（c）切削・研削研究会

	開催日	テーマ及び講師	参加数
第91回	平成26年4月18日	【今後取り上げるべきテーマについての意見交換】 横浜国立大学 機械システム工学　教授・高木純一郎氏	９名
第92回	平成26年5月13日	【(株)牧野フライス製作所 富士勝山事業所見学】 横浜国立大学　機械システム工学　教授・高木純一郎氏	２０名
第93回	平成26年6月17日	【化学研磨を中心とした表面処理加工について】 メイホー株式会社　代表取締役社長 江原 弾氏	１５名
第94回	平成26年7月29日	【超精密砂時計の開発】 (有)ファクタスデザイン 代表取締役 鉢呂文秀氏	１７名
第95回	平成26年9月26日	【放電加工技術について】 特殊電気加工技研株式会社 取締役会長 福澤 康氏	１４名
第96回	平成26年10月21日	【各種レーザーの特徴とレーザーによる微細加工】 (株)リプス・ワークス 代表取締役COO 井ノ原 忠彦氏	１７名

第97回	平成26年11月18日	【JIMTOFの情報交換会】 横浜国立大学 機械システム工学　教授・高木純一郎氏	１２名
第98回	平成26年12月9日	【日常業務遂行上の課題に関する情報交換】 横浜国立大学 機械システム工学　教授・高木純一郎氏	１７名
第99回	平成27年1月23日	【金属積層造型機について】 DMG森精機ｾｰﾙｽｱﾝﾄﾞｻｰﾋﾞｽ(株)DMG商品部 上田真広氏	１５名
第100回	平成27年2月27日	【計測高度化用最新プローブの活用】 マーポス株式会社 営業技術部 MIDAグループマネージャー MIDAプロダクトマネージャー 小柳　典雅氏	１３名
第101回	平成27年3月24日	【タップを中心とした彌満和の工具について】 講師：(株)彌満和製作所 営業技術部　岡本氏	１６名

(d)マイクロテクスチャ研究会

開催日時	テーマ及び講師	参加数
平成26年4月8日	「マイクロテクスチャのCNCプレスによる転写成形」 講師：芝浦工業大学　デザイン工学部　教授　相澤　龍彦氏	８名
平成26年5月 20日	「ダイヤモンド膜のマイクロテクスチャリングに向けて」 講師：芝浦工業大学　デザイン工学部　教授　相澤　龍彦氏	１２名
平成26年7月 1日	「プラズマ窒化マイクロテクスチャリング-2」 講師：芝浦工業大学　デザイン工学部　教授　相澤　龍彦氏	１２名
平成26年8月 5日	「プラズマ窒化マイクロテクスチャリング-3」 講師：芝浦工業大学　デザイン工学部　教授　相澤　龍彦氏	１０名
平成26年9月2日	「超軽量構造への挑戦：ユニットセル設計からの機能展開」 講師：芝浦工業大学　デザイン工学部　教授　相澤　龍彦氏	１０名
平成26年10月14日	「高濃度プラズマ窒化によるマイクロテクスチャリング」 講師：芝浦工業大学　デザイン工学部　教授　相澤　龍彦氏	６名
平成26年11月11日	「高熱伝導率グラファイト結晶」 講師：(株)サーモグラフィックス　代取　野上　美郎氏 「レーザー微細加工技術」 講師：(株)リプス・ワークス　代取　COO　井ノ原　忠彦氏 アドバイザー講師：芝浦工業大学　教授　相澤　龍彦氏	８名
平成26年12月6日	「2014年の成果と来年のテーマ」 講師：芝浦工業大学　デザイン工学部　教授　相澤 龍彦氏	８名
平成27年1月20日	「プラズマ窒化技術を用いたマイクロテクスチャリング」 講師：芝浦工業大学　デザイン工学部　教授　相澤 龍彦氏	８名

(e)第1回新エネルギーセミナー

開催日時	テーマ及び講師	参加数
平成27年3月5日	「マイクロテクスチャを利用した伝熱デバイスの開発」 講師：芝浦工業大学　デザイン工学部　教授　相澤 龍彦氏	３６名

(エ) 学会連携活動支援

学会の発表会・交流会等を共同企画し大田区企業との連携を図る。

平成26年6月17日	学会名：日本塑性加工学会・金型分科会第３３回セミナー 「テクノコアものづくり企業紹介」 概　要：大田区テクノコアの構成企業より選出した３社の事業概要・技術内容・開発内容を報告・工場見学。

平成26年7月23日	学会名：(社)砥粒加工学会賛助会員会第1回技術交流会 「高精度・高生産性を実現する切削加工技術」 概　要：講演『最新のCNC円筒研削盤と要素技術』 『新しい切削工具による高能率・高品位加工の両立』 『加工油剤と研削加工』
平成27年1月23日	学会名：(社)砥粒加工学会賛助会員会第2回技術交流会 「高精度・高生産性を実現する切削加工技術」 概　要：講演『最新の歯車研削盤』 『歯車研削砥石の最新技術』 『ハイポイドギヤを含む歯車の最新仕上げ加工機』
平成27年3月6日	学会名：(社)砥粒加工学会 先進テクノフェア(ＡＴＦ２０１５) 「砥粒加工技術のこれまでの20年、これからの20年」 概　要：講演『工作機械の高度化要素技術の現状と将来』 他４題

⑤ 医工連携支援事業

【決算額　(補助)12,547,472円　(自主)771,124円　(合計)13,318,596円】

医工連携支援拠点として「大田区医工連携支援センター」を平成24年11月1日に大田区大森南四丁目工場アパート「テクノＦＲＯＮＴ森ヶ崎」内に開設した。医療現場のニーズと区内製造業の高度な加工技術を結びつけ、新しい医療機器・器具の開発を進めている。

コーディネート中の医工連携案件	１１９件

医工連携に関する支援事業

開催日時	テーマ及び講師	参加数()内は大田区在勤
平成26年10月3日	鶴見大学　歯学部　保存修復学　桃井　保子 教授 『むし歯治療の最前線(中小企業との連携について)』	３１ (１２)名
平成27年2月6日	東京大学工学系研究科機械工学専攻　杉田　直彦 教授 『加工技術で医療はもっと良くなる』	５６ (１３) 名

⑥　認定支援機関事業

平成26年2月24日、関東財務局及び関東経済産業局より経営革新等支援機関(認定支援機関)として経営革新等支援業務を行う者と認定され認定支援機関業務を実施している。

⑦　産学連携研究開発支援事業

【決算額　(自主)1,242,919円】

大田区より改修済みの建物を無償借り受けし、産学連携の共同研究開発の場として活用。

6　中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業　【定款第4条（6）関係】

① 運営費

【決算額　（補助）2,710,997円　（自主）5,589,182円　（合計）8,300,179円】

（ア）勤労者共済事業の周知

大田区勤労共済会報「ふれあい」の発行

発行回数	発行部数
年１０回	各号４，４００部

（イ）会員管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進

勤労者共済会の募集パンフレットを活用した加入促進員による個別訪問・加入促進キャンペーンの継続実施中。

共済会員入会推移

	平成24年3月末（平成23年度）	平成25年3月末（平成24年度）	平成26年3月末（平成25年度）	平成27年3月末（平成26年度）
事業所　（社） （前年度対比）	１，５７０ （＋２０）	１，５９９ （＋２９）	１，６０４ （＋５）	１，６５９ （＋５５）
会　員　（人） （前年度対比）	４，０７６ （－１１８）	４，１４２ （＋６６）	４，１７３ （＋３１）	４，３５０ （＋１７７）

② 福利厚生事業

【決算額　（自主）37,272,328円】

（ア）健康の維持増進に関する事業

区営プール	利用券の割引あっせん	１，１１８枚
区営スポーツセンター	利用券の割引あっせん	２１セット（２３１枚）
公衆浴場入浴券	利用券の割引あっせん	１，４９７セット
天然温泉 平和島	利用割引券	３８３枚
おふろの王様大井町店 入浴券	利用券の割引あっせん	４６７枚
人間ドック・ミニドック	利用券の割引あっせん	６６件

（イ）レクリエーション事業

主催バスツアー　　２回

	実　施　日	テーマ	場所	参加者
第1回	平成26年6月14日	さくらんぼ狩りツアー	群馬県	８２名
第2回	平成26年11月16日	秋の中伊豆温泉ツアー	静岡県	８１名

第1回（クラブツーリズム/7月号）	６４枚
第2回（クラブツーリズム/12月号）	４２枚

ディズニー パークファンパーティ	平成26年12月6日	４３人

（ウ）宿泊施設利用補助

指定宿泊施設の利用	ライフサポート倶楽部	５００泊
宿泊費助成	1泊¥3,000/1会員	２５３人

（エ）各種施設等の利用補助事業

（a）施設の利用補助	レジャー施設利用補助券	２，７７４枚
	東京ディズニーリゾート特別利用券	２，７９３枚
	釣り船	３５枚
	ゴルフ場	３１件
	潮干狩り	１５枚
	カルチャー	０件
	文化振興協会割引券	１１５枚
	いちおしグルメ表彰店利用補助	５８２件
（b）指定店	区内店舗・デパート等	５３店舗

（オ）チケット割引あっせん

映画券	４，８７８枚
納涼船	８８枚
プリペイドカード(クオ･図書)	６００枚
ジェフグルメカード	７２６セット
食事券	１，０４５枚
鑑賞券(観劇・音楽)	５４９枚
大相撲	４９枚
スポーツ観戦（プロ野球・サッカー）	１８８枚
美術展	９０１枚
東武動物公園	１００枚
としまえん	６３８枚
スパリゾートハワイアンズ	１４４枚

③ 給付事業

【決算額　（自主）12,414,400円】

（ア）共済会員に対しての「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付

祝　金	３８６件	計　５４３件
見 舞 金	８１件	
弔 慰 金	７６件	

（イ）継続会員記念品（５年継続、１０年毎継続）の贈呈

５年継続	２０６件	計　３９６件
１０年継続	１０４件	
２０年継続	８６件	

7　上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業【定款第４条（７）関係】

① 産業プラザ展示ホール等の管理運営

【決算額　（利用料金）231,991,822 円】

産業プラザの展示ホールや会議室について効率的な管理運営を行い、施設利用者・利用率の増加を図るため、備品や照明・ＡＶ機器等の更新を行い、使いやすさの向上を図った。また、京急品川駅に広告看板を掲出し、新規利用者の獲得を推進した。

・産業プラザ施設利用状況　　＜別表Ａ＞

・施設利用収入状況：　２６３，３０１，４７５円　＜別表Ｂ＞

② 創業支援施設等の管理運営

【決算額　（受託）25,482,722 円】

区の指定管理者として施設の管理運営を行うとともに、入居企業が自立した企業活動を営めるようインキュベーションマネージャーによる指導、支援を実施した。

施設名	入居者・退去者数等（平成26年度末）	その他
創業支援施設	入居 29 件・退出:12 件・使用開始:17 件（シェアードオフィス含む）	入居者向け経営セミナー開催：4 回
新産業創造支援施設	入居 2 件・退出:なし　使用開始:なし	
産学連携施設	入居 14 件・退出: 4 件　使用開始:　4 件（スモールオフィス含む）	

③施設貸与に伴う付加サービス

【決算額　（自主）3,043,383 円】

イベントサポート事業者ガイド・ＰｉＯ周辺マップの発行・看板作成サービス・利用者用コピー・インターネット回線接続・催事ごみ処理サービス・特殊簡易公衆電話等の施設利用サービスを実施した。

④ 産業プラザ施設維持の管理運営

【決算額　（受託）235,776,546 円】

産業プラザの利用者に安全で快適な施設サービスを提供するために、設備の保守点検・施設清掃及び施設内警備を実施し、施設の良好な維持管理に努めた。

大田区産業プラザ長期修繕計画（第１期５年目）に基づく工事

施設名	回期
薬注装置更新工事	１期
膜脱気装置更新工事	１期
曝気ポンプ更新工事	１期

⑤ 東工大―大田区協創による開発事業

【決算額　（受託）989,942円】

内閣府委託事業「SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）／革新的設計生産技術」
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program（管理法人：NEDO）

テーマ名	東工大－大田区協創による喜びを創出する革新的ものづくり環境の構築と快適支援機器の設計製造技術の開発

大田区中小企業と東京工業大学の産学連携により、搬送カートロボットの開発や歩行支援機器の開発、革新的アクチュエータ（人工筋）の開発など、人間中心設計に基づく革新的製品開発の連携支援を実施した。

平成２６年度　産業プラザ施設利用状況　＜別表Ａ＞

（1）展示ホール

施設名	前半（5時間）9:00～14:00		後半（5時間）14:00～19:00		利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	
	利用率		利用率		
大展示ホール	347	263	347	284	320,599
	75.8%		81.8%		
小展示ホール	347	245	347	274	120,463
	70.6%		79.0%		
			合計		441,062

（2）コンベンションホール・会議室他

施設名	午前		午後		夜間		利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	
	利用率		利用率		利用率		
コンベンションホール	347	267	347	308	347	252	176,959
	76.9%		88.8%		72.6%		
A会議室	347	326	347	321	347	217	22,079
	93.9%		92.5%		62.5%		
B会議室	347	318	347	321	347	211	24,737
	91.6%		92.5%		60.8%		
C会議室	347	280	347	307	347	158	20,719
	80.7%		88.5%		45.5%		
D会議室	347	274	347	295	347	156	28,220
	79.0%		85.0%		45.0%		
E会議室	347	295	347	315	347	198	12,045
	85.0%		90.8%		57.1%		
F会議室	347	307	347	323	347	244	10,731
	88.5%		93.1%		70.3%		
G会議室	347	302	347	316	347	210	10,429
	87.0%		91.1%		60.5%		
特別会議室	347	238	347	290	347	137	34,217
	68.6%		83.6%		39.5%		
和室	347	274	347	281	347	202	14,054
	79.0%		81.0%		58.2%		
					合計		354,190

施設利用収入状況　＜別表Ｂ＞

利用料金収入	２６３，３０１，４７５円
内訳	・施設利用料：　１７２，７０５，５２２円
	・前年度収納分：　８１，６１６，３６３円
	・駐車場利用料：　８，９７９，５９０円

内職あっせん・相談事業　＜別表Ｃ＞

	求職状況			求人状況		あっせん状況	
	新規人数	再来人数	計	事業所数	人数	事業所数	人数
２６年４月	４２	５	４７	１９	４７	４３	６３
５月	４１	１０	５１	２４	６０	４３	６６
６月	３２	６	３８	１４	４９	２６	３９
７月	１６	０	１６	１１	２１	３１	４４
８月	１９	９	２８	９	２０	１４	２５
９月	５４	６	６０	１６	２８	２７	３０
１０月	４５	２	４７	２１	４０	３９	５０
１１月	６８	２	７０	２０	３０	３２	３５
１２月	３７	１	３８	１５	２７	２３	２９
２７年１月	２５	６	３１	２３	５８	４３	６３
２月	４４	１	４５	１９	４０	３７	４５
３月	７７	６	８３	２１	５５	３３	５９
合　計	５００	５４	５５４	２１２	４７５	３９１	５４８

◆理事会・評議員会

●理事会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第３４条第１項に基づき、理事長が招集した理事会は次のとおりであり、各々承認を得た。

第１回	平成 26 年 5 月 15 日 出席理事　7 名 欠席理事　0 名 同席監事　2 名	・平成 25 年度事業報告について ・平成 25 年度決算について ・基本財産の運用について ・公益財団法人大田区産業振興協会の規程改正について 就業規則、非常勤職員規程、 ・定時評議員会の開催について
第２回	平成 26 年 6 月 10 日 出席理事　7 名 欠席理事　0 名 同席監事　2 名	・専務理事の選任について ・平成 26 年度第１次補正予算について
第３回	平成 26 年 10 月 14 日 出席理事　7 名 欠席理事　0 名 同席監事　2 名	・基本財産の運用について ・公益財団法人大田区産業振興協会の規程改正について 就業規則、契約職員規程、非常勤職員規程、臨時職員規程 情報公開規程 ・「産業連携先との業務提携等手続き方針」について
第４回	平成 26 年 12 月 9 日 出席理事　6 名 欠席理事　1 名 同席監事　2 名	・平成 26 年度第２次補正予算について ・公益財団法人大田区産業振興協会給与規程等の改正について 職員の給与等に関する規程、就業規則第 11 条第３項の規定により採用された職員の給与等に関する規程、就業規則第 19 条第２項の規定により嘱託員として再雇用された職員の服務及び給与等に関する規程 ・臨時評議員会の開催について ・代表理事及び業務執行理事の職執行状況報告

第5回	平成27年3月25日 出席理事　7名 欠席理事　1名 同席監事　2名	・代表理事である理事長の選定について ・平成26年度第3次補正予算について ・区からの事業移管の承認及びそれに伴う内閣府への事業変更届について ・平成27年度事業戦略・事業計画について ・平成27年度収支予算について ・公益財団法人大田区産業振興協会の規程改正について 事務局の組織及び処務に関する規程、公印規程、非常勤職員規程、職員の研修に関する規程、職員の給与等に関する規程、就業規則第19条第2項の規定により嘱託員として採用された職員の服務及び給与等に関する規程、契約職員の給与等に関する規程、職員の旅費に関する規程、財務規程、情報公開規程、就業規則第11条第3項の規定により採用された職員の定年及び退職手当に関する規程、勤労者共済事業実施規程

公益財団法人大田区産業振興協会定款第３７条に基づき、決議を行った理事会は次のとおりである。

第1回	決議のあった日 平成27年2月23日 同意した理事　7名 同意した監事　2名	・定款の変更、理事の選任、評議員選定委員の選任、常勤役員の報酬額の改正を議題とする臨時評議員会の開催について

●評議員会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第１８条第１項に基づき、理事長が招集した評議員会は次のとおりであり、各々承認を得た。

第1回	平成26年4月22日 出席評議員　6名 欠席評議員　1名	・監事の選任ついて ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の改正について
第2回	平成26年5月30日 出席評議員　7名 欠席評議員　0名 同席監事　2名	・平成25年度事業報告について ・平成25年度決算について ・理事の選任について
第3回	平成27年3月23日 出席評議員　6名 欠席評議員　1名	・定款の変更について ・理事の選任について ・評議員選定委員の選任について ・常勤役員の報酬額の改正について

公益財団法人大田区産業振興協会定款第２１条に基づき、決議を行った評議員会は次のとおりである。

第1回	決議のあった日 平成26年12月18日 同意した評議員7名	・常勤役員の報酬額の改正について

●評議員選定委員会

第１回	平成 26 年 4 月 9 日 出席委員　　5 名 欠席委員　　0 名	・評議員の選任
第２回	平成 26 年 5 月 1 日 出席委員　　4 名 欠席委員　　1 名	・評議員の選任
第３回	平成 26 年 6 月 4 日 出席委員　　5 名 欠席委員　　0 名	・評議員の選任

公益財団法人大田区産業振興協会

管理・勤労者共済グループ　管理・財務チーム　03-3733-6466